

安全データシート

作成日 2007年 5月22日
改訂日 2022年 5月 9日

1.製品及び会社情報

製品名： ファインコートP
会社名： オバナヤ・セメントテックス株式会社
住所： 三重県いなべ市北勢町東村1339
電話番号： 0594-72-6488
FAX番号： 0594-72-6253
担当部門： 製造部 工場管理課
整理番号： M4002

2.危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性 経口：	区分に該当しない
急性毒性 経皮：	区分に該当しない
急性毒性 吸入(ガス)：	区分に該当しない
急性毒性 吸入(蒸気)：	分類できない
急性毒性 吸入(粉塵、ミスト)：	分類できない
皮膚腐食性／刺激性：	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	分類できない
呼吸器感作性：	分類できない
皮膚感作性：	分類できない
生殖細胞変異原性：	分類できない
発がん性：	分類できない
生殖毒性：	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)：	分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)：	分類できない
誤えん有害性：	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)：	区分3
水生環境有害性 長期(慢性)：	分類できない

危険有害性情報： 水生生物に有害

注意書き： 《安全対策》

環境への放出を避けること。

《応急措置》

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合は多量の水および石鹼で洗い流すこと。水疱、痛みなどの症状がでた場合は、必要に応じて医師の手当てを受けること。

吸入した場合は空気の清浄な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合、水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませること。

直ちに医師の手当てを受けること。

被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

《保管》

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。

《廃棄》

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託し、関連法規等を遵守し廃棄すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名又は一般名：(メタ)・アクリル系共重合物を含有する中性～弱アルカリ性水系分散液

4.応急措置

- 眼に入った場合： 直ちに流水で15分以上充分洗浄すること。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。その後、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水および石鹼で洗い流すこと。水疱、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の手当てを受けること。
- 吸入した場合： 空気の清浄な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合： 水で口の中を洗浄し、コップ 1～2 杯の水または牛乳を飲ませること。直ちに医師の手当てを受けること。必要に応じて、人口呼吸や酸素吸入を行なうこと。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
直ちに医師の手当てを受けること。

5.火災時の措置

- 消火剤： 粉末消火剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
- 使ってはならない消火剤： 情報なし
- 特有の消火方法： 燃焼源の供給を速やかに止めること。消火作業は可能な限り風上から行うこと。
周囲の設備等に散水して冷却すること。
消火のための放水等により環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行うこと。
- 火災時の特有の危険有害性： 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙を吸入しないように注意すること。
- 消火を行う者の保護： 適切な保護具(耐熱性着衣、手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項/
保護具及び緊急時措置： 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、長靴、ゴーグル等)を着用する。
こぼれた場所はすべりやすいため注意すること。
- 環境に対する注意事項： 河川・湖沼等へ流入すると少量でも広範囲にわたり白濁させる。
河川・湖沼等公共水域及び下水への流入は絶対に避ける。
流入した河川から飲料水を取水している場合、流れ去るまで取水を中止してもらう。
- 封じ込め及び浄化の方法
及び機材： 少量の場合、乾燥砂・土・ウエス等に吸収させ回収する。
多量の場合、まず土嚢や周囲にある土砂等で拡散を防止し、スコップまたは吸引機などで空容器に回収すること。
- 二次災害の防止策： 漏出物の上をむやみに歩かないこと。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い上の注意： 容器から漏出させないようにし、保護手袋・保護眼鏡を着用する。
- 保管上の注意： 換気の良い屋内(5～35℃)で容器を密閉して保管すること。
禁水性物質と同一場所での保管は避ける。

8.暴露防止措置

- 管理濃度： 設定されていない
- 許容濃度： 設定されていない
- 設備対策： 出来るだけ密閉された装置・機器を使用する。
取扱い場所は換気を良くする。
取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設置することが望ましい。

保護具

- 呼吸器の保護具： 必要に応じて保護マスクを使用する。
- 手の保護具： 保護手袋を使用する。ゴム又は樹脂製が望ましい。
- 眼の保護具： 保護眼鏡を使用する。ガラス又は樹脂製のゴーグルタイプが良い。
- 皮膚及び身体の保護具： 保護衣を着用する。厚手の布製で長袖、長ズボンを着用することが望ましい。
- 適切な衛生対策： 作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

9.物理的及び化学的性質

- 物理状態： 液体
- 色： 乳白色
- 臭い： 特異臭
- 融点／凝固点： データなし
- 沸点： データなし
- 燃焼又は爆発範囲： データなし
- 引火点： 示さず
- 自然発火点： なし
- 溶解度： 水可溶

10.安定性及び反応性

- 安定性： 通常の保管・取扱い条件で安定。
- 反応性： データなし
- 避けるべき条件： データなし
- 混触危険物質： データなし
- 危険有害な分解生成物： データなし

11.有害性情報

- 急性毒性 経口： 区分に該当しない
- 急性毒性 経皮： 区分に該当しない
- 急性毒性 吸入(ガス)： 区分に該当しない
- 急性毒性 吸入(蒸気)： データなし
- 急性毒性 吸入(粉じん、ミスト)： データなし
- 皮膚腐食性／刺激性： データなし
- 眼に対する重篤な損傷性／刺激性： データなし
- 呼吸器感作性： データなし
- 皮膚感作性： データなし
- 生殖細胞変異原性： データなし
- 発がん性： データなし
- IARC： 認定されていない
- NTP： 認定されていない
- 日本産業衛生学会： 認定されていない
- 生殖毒性： データなし
- 特定標的臓器毒性 (単回暴露)： データなし
- 特定標的臓器毒性 (反復暴露)： データなし
- 誤えん有害性： データなし

12.環境影響情報

生態毒性：	製品	データなし
	成分	fish LC ₅₀ =0.7 mg/L(類似品のデータ)(非イオン型界面活性剤)(SDA)
	類似品のデータ	Fathead minnow、96h、LC ₅₀ :1.2 mg/L(イオン型界面活性剤)(A.D.Little, Vol 1,Part 2,1991,p. V-6)
残留性・分解性：	データなし	
生体蓄積性：	データなし	
土壤中の移動性：	データなし	
オゾン層への有害性：	データなし	
他の有害影響：	データなし	

13.廃棄上の注意

残余廃棄物：	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約し、関連法規等を遵守し廃棄する。
汚染容器：	内容物を完全に除去した後に都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約し、関連法規等を遵守し廃棄する。

14.輸送上の注意

輸送の特定の安全対策	
及び条件：	取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
国内規制	
陸上輸送：	消防法、毒劇物取締法、高圧ガス保安法、道路法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送：	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送：	航空法に定められている運送方法に従う。
応急措置指針番号：	該当しない。
国際規制	航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
陸上輸送：	RID(欧州危険物鉄道輸送規則)、ADR(欧州危険物道路輸送協会)に従う。
海上輸送：	IMDG(国際海上危険物規則)に従う。
航空輸送：	ICAO-TI(国際民間航空条約技術指針)／IATA-DGR(国際航空運送協会危険物規則)に従う。
国連番号：	分類基準に該当しない。
国連分類：	分類基準に該当しない。

15.適用法令

消防法：	非危険物
労働安全衛生法：	表示対象物質に該当しない。 通知対象物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法：	該当しない
化学物質管理促進法・	
PRTR：	該当しない

16.その他情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。